

# 同窓会だより

編集発行/岐阜県立本巣高等学校同窓会本部事務局  
(〒501-04 岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺・TEL (0583) 24-1201)

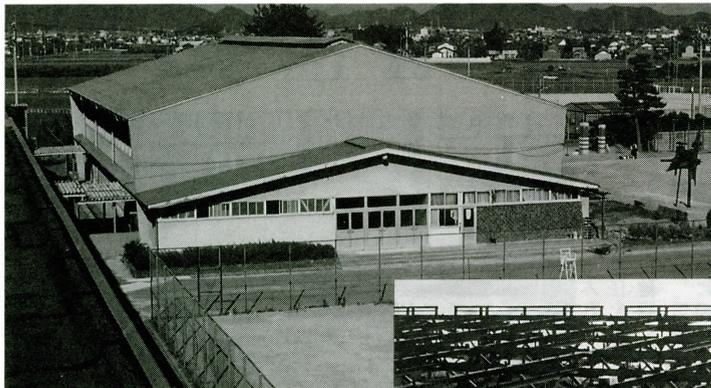
卒業生総数:

20,623人

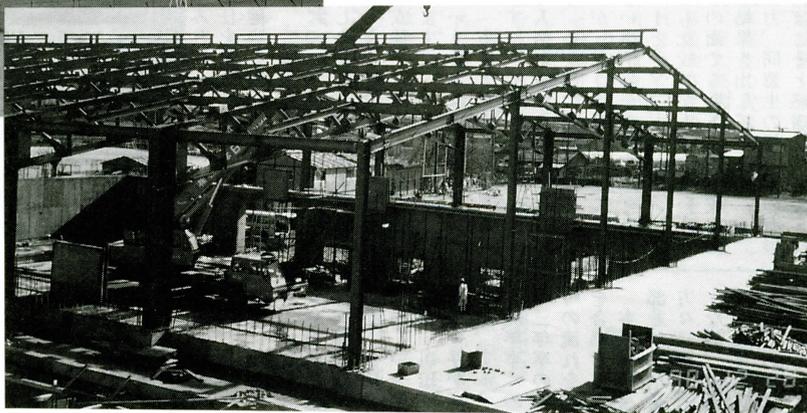
旧 中: 2,571人

高 女: 2,592人

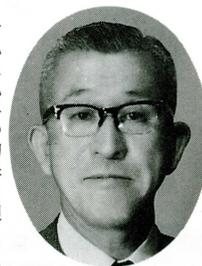
高 校: 15,460人



旧 体 育 館



工事の進む新体育館



ご挨拶

同窓会長  
井 深 透

一九八九年の新春を迎えるに当たり新春の御挨拶を申し上げます。

母校の卒業生の数も増加致してまいりまして、二万余名を数えるに至りました。同窓会員にはそれぞれの分野において御活躍御精進なさっておりますことは、よろこばしい限りと存じます。

同窓会の過ぎ去りし一年の歩みを御報告申し上げますと、六十三年度本部総会は昨年八月十三日に大野町の魚千代において開催され、出席者は百三十有余名で恩師を囲んでなごやかなムードの裡に盛大に行われ友情の絆は強められました。出席者が回を重ねるたびに増加致してまいりますことは喜ばしいことと存じます。

関西支部の総会は昨年五月十五日に神戸の国際会館にて行われ出席者は四十四名で例年のごとく盛大に行われました。今年は京都で開催される由でございます。

岐阜支部の総会は昨年五月二十八日に岐阜会館にて開催され、出席者は八十一名で当日は本校の卒業生で名古屋商科大学教授中尾光昭先生の「外から見た日本人、貿易摩擦と文化摩擦に就いて」という講演を拝聴致し深い感銘を受けました。

揖斐郡教職員同窓会は昨年二月六日に大野町の魚千代において開催され、職域における同窓会は各所において行われております。本年度の本部総会は従来慣例により北方町にて開催され、期日は会則により八月の第二土曜日即ち八月十二日で場所・時間は各回の理事を通じて御連絡致します。

県外の会員の皆様もお盆には郷里にお帰りのことと存じますが時間を繰り合わせ是非御出席されますことを期待致しております。その折は懐かしい母校を訪れて、かつての青春の時代に思いを致していただくことも感慨一入かと存じます。

体育館は改築が決定され、昨年八月三十一日起工式が挙行され目下工事中にて完成は今年五月になります。半世紀以上にわたり烈しい風雪に耐えた周囲の松は今も昔と変わりなく年輪を重ね、銘木として濃い緑を保っております。今年度の総会には多くの同窓会員の皆様が登場され、お元氣な姿に接し色々とお話の出来まことを楽しみに致しております。

皆様のますますの御健勝と御多幸をお祈り致しまして年頭の御挨拶と致します。

(一九八九、一、一、記)

# 校訓と不易流行

学校長 小林 峯 夫



今年度も本巣高校同窓会には、本部総会をはじめ近畿支部、岐阜支部に出席させてもらいましたし、役員会とかいろいろな機会に同窓生の各位とお話することが何度かありました。その折りに、「私は本巣高校の校訓『質実剛健、文武両道』を一生懸命生徒に説いています」と申し上げると、大抵の同窓生の方はたいへん嬉しそうな顔をされ、「私達の時代は毎日そればかり聞かされて育ったものです」と言われます。

中には「質実剛健、文武両道なんて戦時中の校訓を引っぱり出してきて大丈夫だろうか、時代錯誤ではないか」と心配される先輩があるかもしれないと思うこともありませう。一体この校訓、教育理念は昔から日本にあるもので、例えば江戸時代、松平定信の寛政の改革のときなど江戸市民はかなりしつこくこれを言っていて聞かされたらしく、「世の中にか(蚊)ほどうるさきものはなしぶんぶ(文武)と言ひて夜もねむれず」という皮肉たっぷり狂歌を残しているほどです。

江戸時代には江戸時代なりのニュアンス、イメージがこの「質実剛健、文武両道」にはあったことでしょう。また同じ本巣高校の先輩でも、創設期のいわゆる大正デモクラシーの時代に学ばれた方々と、軍国主義の真っ直

中の戦争期に学ばれた方々とは、このことばに伴っているイメージとか実質、生活実態が異なっていることだろうと思えます。

私が今、本巣高校の生徒に期待している「質実」というのは、素直、純真、正直、誠実というような範囲のことです。本巣高校の生徒は他校と比べてたいへん素直で誠実なので、学業成績と言う面でも、学校の先生方の指導が真直に通ってゆき、その結果学力が期待通りに身につけてゆくといいことが確かにあると言つてよいでしょう。時々進路指導部の人たちが、県下の各中学校各学年の共通実力テストの結果を私のところへ持ってきて説明してくれませんが、その折りに、岐阜市内のいくつかの学校より、本巣高校の生徒のテスト結果がうんと伸び率が高いというデータを示されるのはうれしいことです。これも生徒に「質実剛健」の伝統が生きてきているせいだと思うわけです。

ちなみに、現在の教育基本法の文言でこの校訓を言い替えてみれば、その第一条に書いてある「勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民」ということになりましよう。

芭蕉は俳諧の道について「不易・流行」ということを言いましたが、わが校の校訓にも古今に一貫して変らない部分(不易)とその時代時代によって衣替えていく部分(流行)のあることを感じます。

「文武両道」ということばも同様です。毎年、岐阜県教育の「方針と重点」というものが学校に示されますが、その中に「知・徳・体の調和のとれた人格形成」ということばがあります。これも、わが校の目標としてかかげている理想ですが、言うは易く行うことのがなかなかつかつかしい事柄の一つですが、本巣高校の場合、バレーとかソフトとかラグビーとか部活動の面でも比較的がんばっている方ですし、大学進学の結果を出しています。これに伍して結構な結果を出しています。無形の応援があればこそと感謝しています。

# 総会報告

事務局長 高橋 達 夫

昭和六十三年年度の本部総会は、揖斐支部総会と兼ねて、八月十三日(土)午後二時から揖斐郡大野町黒野の魚千代新館にて、出席者百三十一名を得て開催された。

井深透会長の挨拶に続いて、学校長小林峯夫先生から母校の近況報告、岐阜県議会議員杉山友一氏(25年卒)から県政や経済・教育のことなどを含めた御祝辞を頂戴した。その後、馬淵要氏(中2回)を議長に選出し議事に入った。

左記協議事項について、いずれも原案どおり全会一致で可決承認された。

- 一、昭和六十二年度事業並びに会務報告
- 二、昭和六十二年度決算報告
- 三、会計監査報告
- 四、昭和六十三年年度事業計画案
- 五、昭和六十三年年度予算案
- 六、創立五十周年記念奨学金給付報告

総会終了後は、懇親会がもたれた。恩師戸部秀済、松尾克美、杉山義雄、和田弘、篠田一男、山田勝弘、後藤正紀、所美佐子各氏の懐かしい先生方、小林峯夫学校長、溝下和子教頭、川田一朗渉外課長の各先生を囲み、昔を思い浮かべながら中々に歓談がなされた。また、アトラクションでは、歌手栗本まゆみ(52年卒)の独唱や会員とのデュエット、三十三年卒の方々による合唱等が行われる中、時の流れを忘れる楽しい懇親会を最後に校歌を合唱して終えた。

本部総会及び懇親会を開くに当たり、揖斐支部並びに卒業後三十年目の昭和三十三年卒の方々に御支援を頂いたことを深く感謝します。なお、平成元年度の本部総会には、本巣郡にて、八月十二日(第二土曜日)に開催される予定である。より多くの会員の御出席を念願するところである。

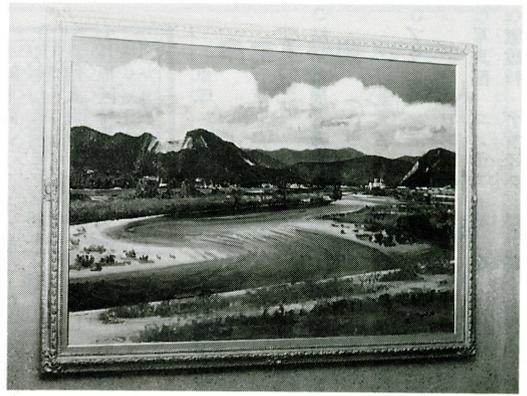
# 同窓会総会に出席して

昭和三十三年卒 杉山 清

「母校は若き日の心の故郷である。」と現在、母校の正門の石碑に刻まれている。

我々三十年前に再会を期して、この正門を巣立って行った三十三年卒が、今年には当番幹事だとクラス会のつもりで出てみれば、次のクラス会の日程が決まる程の盛り上がりを見せ、クラス会としての横のつながりを充分に発揮したのは勿論のこと、古い卒業生が培ってきた伝統を、新しい卒業生が守っていかれるという、「良さ」を痛感した次第です。母校の文武両道の精神が今もって脈々と生き、文にたけた者、武にたけた者、相調和し気骨ある人間形成の過程を、垣間みた一時でした。会が盛り上がった最大の功労者は武のcottson先生、文の山勝先生の御健勝なお姿でした。母校の松樹は大正、昭和を見、今又平成を生き、我々に文と武の大切さを教えてくれることでしょう、そしてそれが心の故郷につながることを。





古里の山河

# 「卒業の証に」と 百号の油絵を寄贈

—— 旧中第二十二回  
卒業生の皆さん ——

去る十月十八日、同窓生の白日会会員堀太郎氏(名古屋瑞穂区在住)の、『古里の山河』と題する百号の油絵が、旧中第二十二回卒業生の皆さんによって寄贈されました。

この学年の皆さんは、お互いの絆をいつまでも大切にしようと二十年ほど前から毎年同級会を開いてこられました。今回、同級生の一人でもあられる母校教頭飯沼東一先生が定年退職されるに当たり、先生の在任中に卒業の証として母校に何かを贈ろうとの話が持ち上がりました。堀氏の御協力も得られ、絵画が贈られることになりました。

堀氏は光風会十三回、日展十回入選という輝かしい経歴をもたれ、日本の風景を中心に意欲的に創作活動を続け、特に海辺の風景を得意としておられます。現在は名古屋を中心

にいくつもの講座を開設し、後進の指導に当たっております。

旧中第二十二回卒業生の代表世話人として梅田茂氏が選ばれ、堀太郎君の絵を母校に贈る会」が発足し、多数の方々の御賛同を得て募金活動が進められました。

この油絵は、藪川橋付近から北方を望んだ故郷の風景であり、中央には満々と水をたたえて緩やかに流れる根尾川、上方には、赤い山膚を剥き出しにした更地山、その他故郷の山々が厚い夏の雲を支えるように描かれています。この景色は、堀氏が揖斐郡大野町からいつも母校に通われた道に眺めた思い出の風景であったようです。

この寄贈の様は中日新聞にも紹介されました。そのインタビューで堀氏は、「先生にこつびどく怒られたり、剣道部で対外試合十試合のうち九本の優勝旗を持ち帰ったり、思い出いっぱいのある学校。母校に私の絵を置いていただけるのは光栄です。」と答えておられます。現在、玄関を入った正面の壁面に飾られております。



贈呈式

## 支部だより

### 関西支部

支部長 山田千秋

昭和六十三年度の関西支部総会は、五月十五日(日)午後二時から神戸の国際会館において、本部から井深会長・小林校長・高橋先生をお迎えして盛大に開催されました。出席総員は計42名。(来賓)3名、(旧中)9名、(高女)14名、(高校)16名でした。

総会は来賓二氏の祝詞と母校の現況報告のあと、今後の支部運営について活発な意見交換がありました。懇親会は懐旧談話の中に歌あり、いつもながらの和やかさと熱気溢れるムードのうちに幕を閉じました。また半数以上の者が二次会に繰出し、一層盛りあがったものとなりました。

扱、次回総会は追ってご案内いたしますが、支部発展のため会員皆さんの奮っての参加をお待ちしております。

末筆ながら、母校ならびに同窓会の益々の発展を祈念いたします。

### 名古屋支部

支部長 棚橋範夫

前会長御逝去のため、会長の後任が決まらないうまま六十一年から休眠状態が続き、学校の御期待に添えず御心配ばかりおかけし、申し訳ないことと思っております。

平成元年、はからずも支部長をおおせつかりました。他に適任者も多く見えますが、若輩の私が、諸般の事情でお引き受けすることがになりました。それにもない各会員の方々から御意見を拝聴し、支部運営に反映させ、楽しい出会いの場とし、旧中・旧高女卒の同

### 岐阜支部

支部長 佐倉式三

昭和六十三年年度総会は、五月二十八日(日)岐阜会館にて名古屋商科大学教授の中尾光昭氏(昭22卒)を講師に招き出席者七〇名で開催され盛会裡に終わりました。

総会は井深会長の挨拶、小林学校長の母校近況報告、高橋先生の本部報告に続いて井深敏郎氏(中3)を議長に選出、各担当幹事から会務報告、会計報告、監査報告の説明があり何れも可決承認され総会を終えました。

講演の長い在外から見た日本人」と題して講師の長い米体験があり勉強になりました。懇親会では会場は一気に懐旧談で賑やかになりスピーチ、余興、合唱等での過ぎるのを忘れ、井深会長の万歳三唱で散会しました。

### 京浜支部

支部長 川村福二

一昨年八月、支部長の川村福二氏の逝去に伴い、本支部は支部長の席を欠いたままの状態にあるので、早急に支部長を選出し、支部活動を再開したい旨の便りを神谷春樹氏からいただきましたが、公務多端の折から本年は「たより」をいただいております。

事務局と致しましては、鶴首して待つておりますので勝手ですが、ここにその事情を記して支部だりに替えさせていただきます。なお京浜支部の今後のご発展を祈っております。

### 部活動報告

(運動系)

〈全国・東海・中部地区大会〉

○全国高校総体

陸上部 200m二位・100m四位 小芦角支朗

バレー部 決勝トーナメント出場

○国民体育大会

陸上部 少年A 100m七位 小芦角支朗

バレー部女子(東海・二国体) 準決勝出場

○東海高校総体

陸上部 100m・200m二位 小芦角支朗

ソフト部三位・柔道部三位 中村 英子

○中部大会 ソフト部二位・バレー部三位

〈県内大会〉 三位入賞まで

○七月岐阜県陸上選手権 100m・200m優勝 小芦角支朗

八月県高校総体 ソフト部 優勝

バレー部・ハンド部 二位

陸上部 100m三位 河村道彦

九月陸上秋季選手権 200m二位

十月新人大会 100m優勝・200m二位

十月地区総体 ソフト部・ハンド部 優勝

バレー(女)・ラグビー・テニス(女) 二位

卓球(女)・柔道(女)・剣道(男) 三位

(文科系)

○岐阜県展優秀賞 (書道) 優秀賞以上

(デザイン) 吉田 剛・棚瀬 学

以上三名は、全国総合文化祭に出品

○アラスバンド・朝日コンクール県大会銅賞

ソロコンテスト 銀賞 高橋ともみ

写真部 コンテスト第二席 川嶋 達也

家政科 デザイン 優秀賞 梶原 豊子

全国各地において各界で活躍の同窓生諸氏に、母校の現況の一端をお知らせ致したいと存じまして、上記のような部活動における後輩たちの奮闘の成果を載せました。ご覧下さい。

なお、昨年八月、神戸市において行われたしたイェンターハイの折には、関西支部の方々、特に支部長の山田千秋氏には、なにかとご配慮をいただき、かつまた当日は応援にまで駆けつけてくださり、選手のみならず、監督も大変感激しております。この紙面を借りて、同窓生諸兄弟にお知らせ致します。

### 慶事

今年度叙勲の榮譽に輝かれた方は、次のとおりです。心から祝福申し上げます。  
☆松尾克美(旧中12回卒)  
勲四等瑞宝章  
元公立高校校長、教育功労

☆野村健二(旧中13回卒)  
勲四等瑞宝章  
本巣郡糸貫町郡府三三三

元公立高校校長、教育功労  
揖斐郡大野町黒野八五九の三

### 訃報

本年度は、会員の中、次の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○広瀬 弘(中11回) 63・2・25死亡

○柿元 健一(中5回) 63・3・4

○八代 春雄(中7回) 63・3・21

○滝川 正夫(高普1回) 63・3・31

○渡辺増太郎(中3回) 63・4・30

○井上 ふみ(高女1回) 63・6・9

○小林 良一(中16回) 63・6・20

○岡田 山三(中22回) 63・9・6

○高橋 巖(中5回) 63・10・19

○田中 裕之(高普39回) 63・12・9

○高橋 義昭(高商9回) 63・12・18

○高橋登樹美(中9回) 63・12・26

### 同窓会本部役員名一覽

(昭和62年8月8日改選)

○顧問	安藤 清(中1回) 糸貫町春近	○総務部長	寺町百助(中11回) 糸貫町屋井
○副会長	翠 正明(中13回) 真正町上真	○副	山田君子(女13回) 北方町北方
○副	八代義隆(中15回) 岐阜市又丸	○副	内藤準一(高2回) 北方町加茂
○副	九一七(〇五八二) 岐阜市又丸	○副	笠原艶子(女10回) 北方町北方
○副	大野君子(女13回) 岐阜市又丸	○副	森 義雄(中9回) 巢南町一八
○副	九二一(〇五八二) 〇一五〇八	○事務部長	条八四九一(〇五八三二八) 二〇三七
○副	高木つた子(女18回) 北方町戸	○副	大西昇八(中11回) 真正町政田
○副	羽町(〇五八三) 〇一一二	○副	林 秀一(中2回) 糸貫町北野
○副	所 軍次(高1回) 大野町黒野	○副	中村敬二(中14回) 真正町温井
○副	一〇二七(〇五八五三) 〇一三五四	○副	梅田 茂(中22回) 北方町俵町
○副	山田美代子(高1回) 糸貫町高	○副	鷺見 茂(中5回) 岐阜市又丸
○副	砂町八八二(〇五八三) 〇二四三九八	○副	西 鶴子(女3回) 〇三〇四六
○副	菅原智子(高13回) 糸貫町郡府	○副	一四二(〇五八三) 〇二〇八三

### 教職員人事異動

(63年4月)

〈転入者〉	教頭 溝下 和子(大垣女教頭)	〈転出者〉	教頭 大矢 邦彦(県立図書館長)
国語	鷺見 敦子(可児)	国語	加藤 建二(岐阜西工)
社会	森 理(岐陽)	社会	高橋 幸仁(池田)
数学	西野みちる(岐阜一女)	数学	和田 幸子(羽島北)
理科	不破 斉(大垣南)	理科	高橋 哲也(退職)
体育	杉山 昭彦(華陽)	*体育	青山 正(長良)
英語	鈴木 豊(岐女商)	*家庭	所 美佐子(大垣女)
家庭	河村真里子(大垣女)	事務	堀 紀子(揖斐)
事務	原 英子(三田)	用務	高橋 宣子(退職)
用務	若森 尚美(岐阜病院)	事務	富田 栄(東濃実業)(8月)
	桐山 和代(新採)	用務	

(\*印 校内理事)